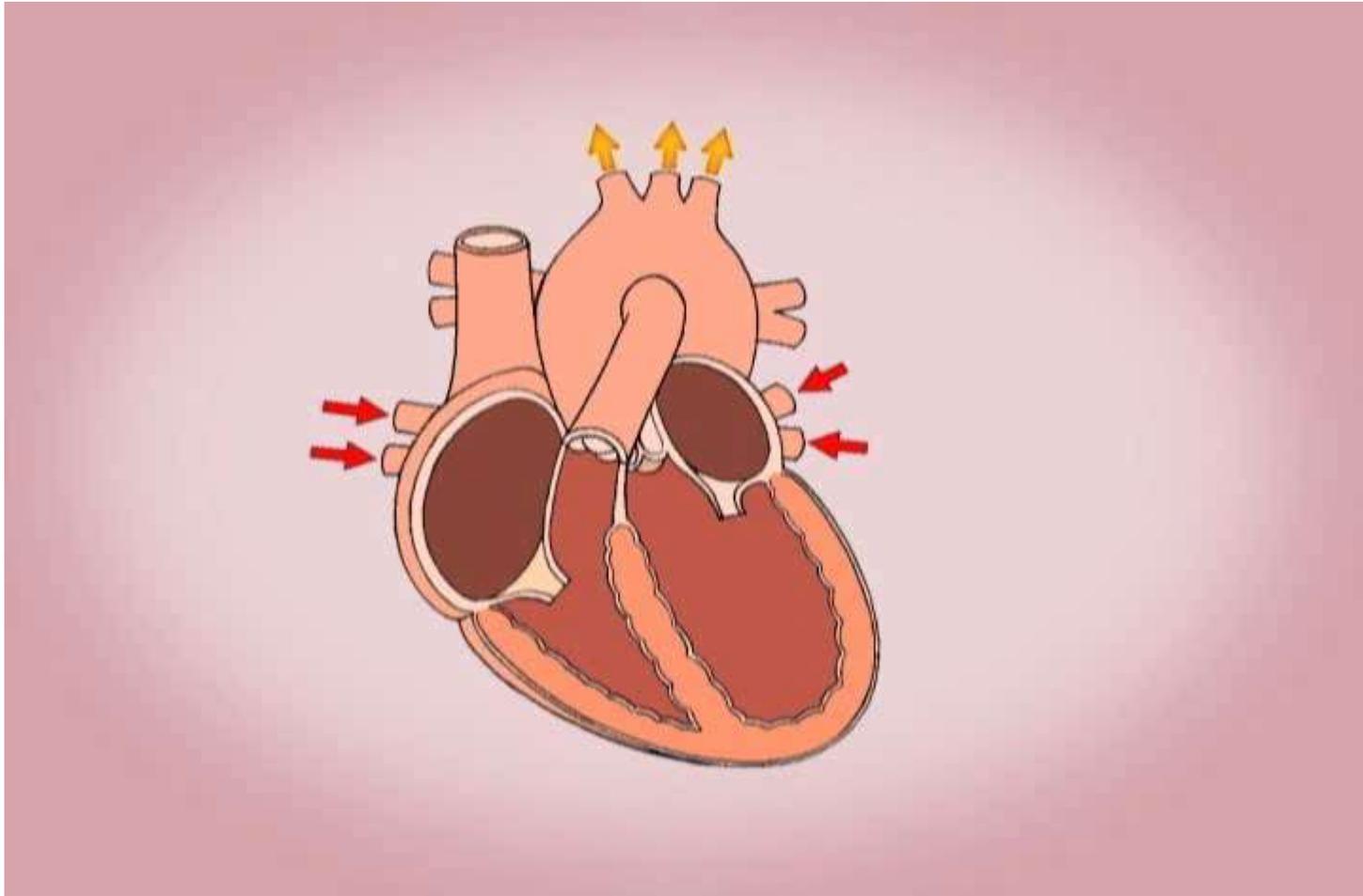


救命の連鎖



心停止とは



心肺蘇生の流れ（2010年に改訂）

胸骨圧迫＝心臓マッサージが一番大事

C: compressions
(胸骨圧迫)

A: airway
(気道の確保)

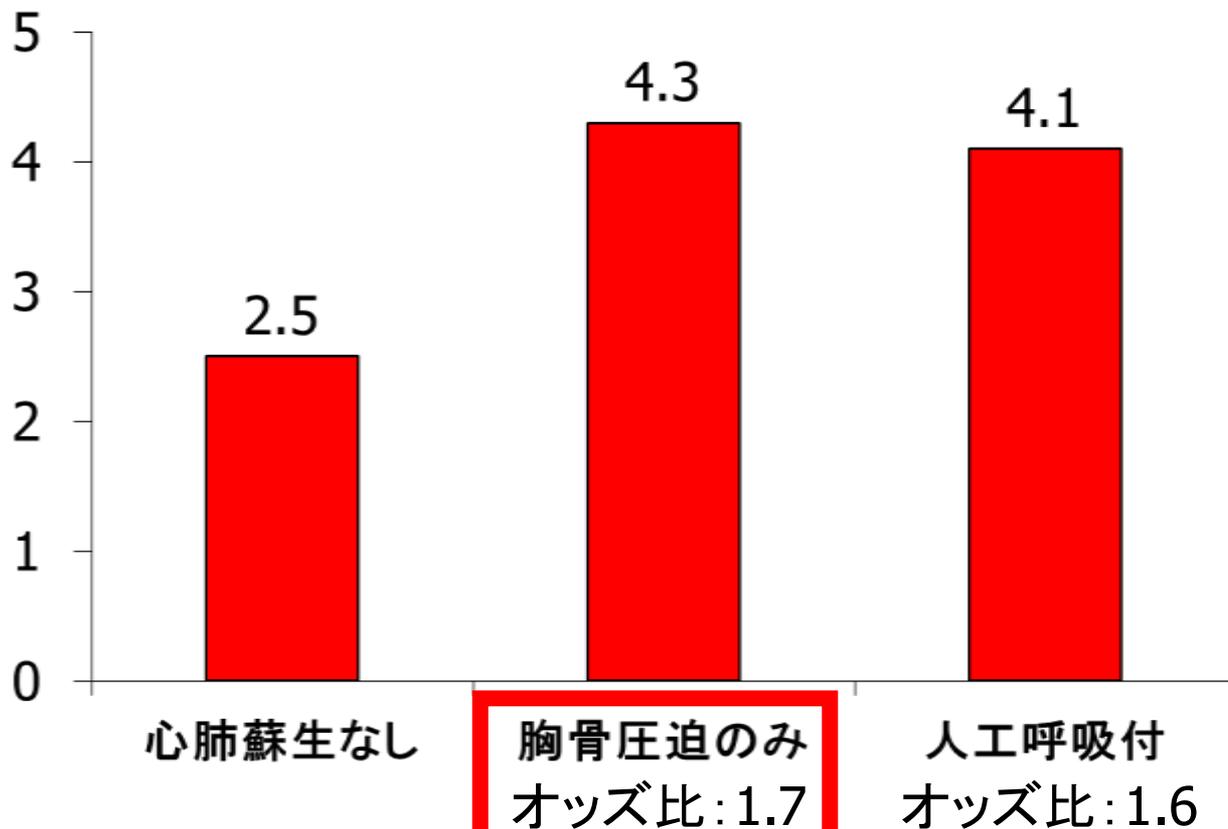
B: breathing
(人工呼吸)



心肺蘇生法の種別による救命率

心臓が原因の目撃された病院外心停止からの社会復帰率
(意識障害のない生存率)

胸骨圧迫のみの蘇生法を行うと、何もしていない場合と比べて、1.7倍（人工呼吸もしている場合は1.6倍）助かるという意味なのだ。



ウツタイン大阪プロジェクトより
(Circulation. 2007;116:2900-2907)

誰でもできる蘇生法：コール&プッシュ



AEDの手技



AEDが何かわかったところで、AEDを用いた電気ショックの流れ、具体的な手技を勉強するのだ！

AEDの使い方①

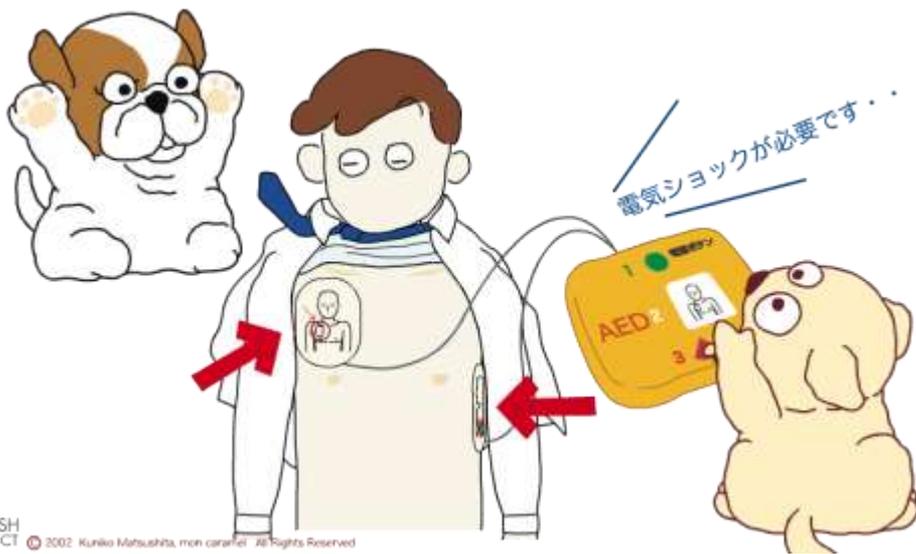


右前胸部

左側胸部

- ①電源を入れる
- ②パッドの装着、コネクタを接続
- ③AED解析
- ④安全を確認し、ショック
- ⑤ショック後の対応
- ⑥ショックが不要な場合

AEDの使い方②



- ①電源を入れる
- ②パッドの装着、コネクタを接続
- ③AED解析
- ④安全を確認し、ショック
- ⑤ショック後の対応
- ⑥ショックが不要な場合

AEDの使い方③



PUSH PROJECT © 2002 Kuniko Matsushita, mon caramel All Rights Reserved

- ①電源を入れる
- ②パッドの装着、コネクタを接続
- ③AED解析
- ④安全を確認し、ショック
- ⑤ショック後の対応
- ⑥ショックが不要な場合

子供に対するAED使用時の注意

- ① **未就学児(およそ6歳まで)**は小児用パッドを用いる
→小児用パッドがない時は成人用でも構わない
- ②パッドを貼る位置は、成人と同じ
→前胸部と側胸部。
→パッドが重なる時には前胸部と背面とする。

AED使用の際、注意が必要な状況

①体が水などで濡れている時

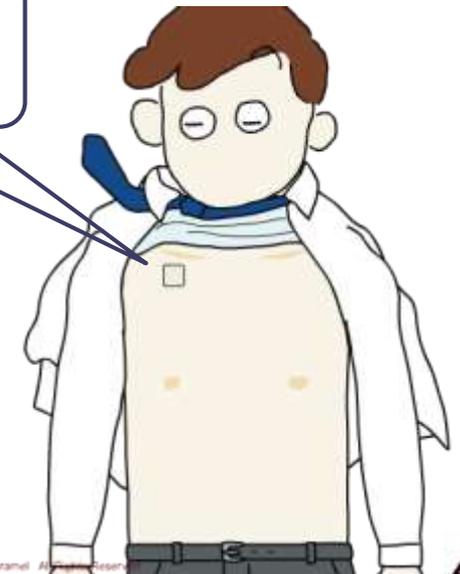
●電気が体の表面の水を伝わり流れてしまうので、AEDの効果が不十分になります。乾いたタオルなどで胸を拭いてからAEDのパッドを貼りましょう。



②貼り薬がはってある時

●貼り薬やシップ薬が、AEDのパッドを貼る場所にある場合は、まずそれらははがして下さい。貼り薬の上からパッドを貼ると電気ショックの効果が減少してしまったり、やけどを起こす可能性があります。

こんな貼り薬があれば
取り除いて下さい。



AED使用の際、注意が必要な状況

③医療器具が埋め込まれている時

●皮膚の下に心臓ペースメーカーや除細動器が埋め込まれていると、胸に硬い「こぶ」のような出っ張りが見られます。パッドを貼る場所にこれがある場合、なるべく離して貼りつけて下さい。



AED使用の際、注意が必要な状況

④毛深い時

●パッドが肌に密着せずにAEDの効果が減少したり、やけどの原因となります。できるだけしっかりと密着するように貼り付けます。予備のパッドがあれば、最初のパッドを素早く胸毛ごととはがしてから、新しいパッドを貼り直すという方法もあります。

AED使用のおさらい

- ① 必ず電源を入れる
- ② パッドは絵に描いている位置に、素肌に2か所貼る。
- ③ AEDの解析中、ショックボタンを押す時は、倒れている人の体に触れない！
- ④ AEDの指示をよく聞く。

作成

- 日本臨床救急医学会
学校へのBLS教育導入検討委員会
- NPO法人大阪ライフサポート協会
PUSHプロジェクト運営委員会